

静岡県立静岡聴覚特別支援学校（静岡聾学校）

“学びをつなげる学校” だより

令和5年6月30日 第3号 【文責 校長 佐藤容子】

“子供たちが地域の人たちと直接つながり、人との関わりの中で主体的に活動できるような場”がスタートしましたので紹介します。

【地域とつながる学びの取組：幼稚部】



昨年度苦手だった子も、「知ってる田んぼ!」と楽しんで活動でき、捕まえたオタマジャクシの絵を描いたり、餌をやり飼育したり、活動の幅も広がりました。

「よく見ると、ひらひらがついているよ。」
しっかり観察して
気付きもいっぱいありました!!



「近所の田んぼで、オタマジャクシ採りができたらいいな。」に答应いただきました。中村町石上様の御好意に感謝です。子供たちは田んぼで大はしゃぎでした。



足が生えてきたオタマジャクシさん、「このままではかわいそう。」みんなで話し合っ、「バイバイ」しながらそっと逃がしてあげました。

地域とつながる学びの取組：小学部】

「『昔のごみの処理』について話を聞きたいです。」に答应いただきました。

中村町自治会長 鍋田様ありがとうございました。



70年前の学校周辺は、田んぼと学校と数件の家だけ!! 昔の写真を見せていただき、時代の変化を実感!! 驚きました。

昔は、ごみを自分の家の庭に埋めていたけれど、今は健康に過ごせるように、処理の方法も変化してきたことが分かりました。

【地域とつながる学びの取組：中学部】

6月23日(金)終日、大里中学校との交流活動で、中学生10人は1人ずつ交流クラスに入って授業交流してきました。

「クラスの友達が話しかけてくれて、たくさん話してきた。」

「授業は分からない(聞き取りにくい)ところもあったけれど、休み時間は友達と話せて楽しかった。また、行きたいです。」

